



ガイド

① 横浜公園 1876年（明治9年）開園

横浜港が開港した1859年（安政6年）頃この場所には遊郭があった。1866年（慶応2年）大火（豚屋火事）で焼失。明治政府が樹立した後の1875年（明治8年）スコットランド人の土木技師リチャード・ブラントン設計のもと遊郭跡地に公園（現在の横浜公園）と港に向かって新道路（現在の日本大通り）が建設された。

② イタリア山庭園

1880年（明治13年）～1886年（明治19年）までイタリア領事館が置かれたことからイタリア山と呼ばれている。1993年 プラフ18番館 1997年に外交官の家が移築された。庭園は水や花壇の幾何学的なデザインが特徴である。

③ 港の見える丘公園 1962年（昭和37年）開園

1948年（昭和23年）平野愛子が歌った歌謡曲【港の見える丘】から開園当時の半井横浜市長が命名。平成27年リニューアルした園内には330種 2200株の横浜の市花バラの花が市民の目を楽しませる。また、展望台からの夜景がきれい。

④ 山下公園 神奈川景勝50選

1930年（昭和5年）関東大震災の復興事業としてがれきなど埋め立てて造成。3月開園した公園内には歌碑【かもめの水兵さん】【赤い靴はいてた女の子像】【インド水塔】リカルテ将軍記念碑や氷川丸が係留されている。また、臨海鉄道の貨物線跡に山下臨海プロムナードとして整備され新港地区まで歩道が直結されている。

⑤ 新港中央広場 2005年（平成17年）開園

赤レンガ倉庫 防災基地 ワールドポーターなどがある新港地区の一角にある。2009年（平成21年）には開国博 Y150 の会場（はじまりの森）になった。広場は季節感のある草花を楽しめるナチュラルガーデンが特徴である。

⑥ 馬車道

横浜港開港前アメリカと江戸幕府で日米通商修好条約が結ばれ貿易のため横浜港が開港。関内に外国人居留地が置かれて関内と横浜港を結ぶ道路として開通した。この道を外国人は馬車で往来し、当時の日本人は【異人馬車】などと呼んでいたことから、後に馬車道と呼ばれるようになった。明治2年（1869年）には東京行きの日本初の乗り合い馬車がこの付近から出るようになった。2頭だての6人乗りで東京まで4時間かかった。